

平成28年度 保健師教育課程の教育体制等に関する調査 結果報告

1. 目的

会員校の教育体制に関する実態を把握し、さらなる保健師教育の充実のための活動を行う上での基礎資料とする。

2. 方法

1) 対象：全国保健師教育機関協議会の会員校 193校

2) 方法：Survey monkey を用いた質問紙調査

3) 調査内容：保健師教育課程の区分の現状と方向性、学年定員数、単位数、実習日数、実習1グループの学生数、選択制の場合の選抜の倍率・読替単位数・看護師教育課程における公衆衛生看護に関する必修単位数、国家試験受験状況、就職状況、保健師教育課程の教員数、保健師教育課程変更等に伴う教員の増減数、課題等

4) 調査期間：平成29年3月10日～平成29年5月10日

5) 分析：保健師教育課程の区分別の記述統計

6) 倫理的配慮：調査は無記名で行い、学校名が特定できないように分析した。

3. 結果

回収数は、109（回収率56.5%）であった。保健師教育課程の学年定員数の平均（全体：29.1人）は、大学（選択制全員可）が85.0人と最も多く、次いで大学（全員必修）の75.0人であった。大学院が11.7人と最も少なく、次いで大学（選択制上限あり）の23.5人であった（表4）。保健師国家試験受験資格を取得するために必要な卒業単位数（看護師教育課程を含む）の平均（全体：126.1）は、大学（選択制上限あり）が140.0、大学（選択制全員可）が138.8、養成校統合カリが126.5、大学（全員必修）が126.0であった（表5）。「公衆衛生看護学実習」の総単位数の平均（全体：5.3）は、養成校1年課程及び短期大学専攻科が5.5、養成校統合カリ及び大学（全員必修）が5.0、大学（選択制全員可）が5.6、大学（選択制上限あり）が5.2、大学院が7.6であった（表8）。「公衆衛生看護学実習」の保健所・保健センターでの実習日数（学内帰校日を除く）の平均（全体：18.2日）は、養成校1年課程が22.3日、短期大学専攻科が21.0日、養成校統合カリが9.8日、大学（全員必修）が13.8日、大学（選択制全員可）が15.8日、大学（選択制上限あり）が17.8日、大学院が28.1日であった。大学（選択制上限あり）では最小値が0であった（表9）。保健師教育課程の履修人数に占める保健師国家試験受験者割合の平均（全体：98.8%）は、養成校統合カリが98.5%、大学（選択制全員可）が98.7%、大学（選択制上限あり）が98.6%、大学（選択制上限あり）では最小値が79.3%であった（表17）。保健師教育課程の履修人数に占める保健師としての就職割合の平均（全体：22.8%）は、養成校1年課程が58.9%、短期大学専攻科が52.9%であり、養成校統合カリが0.0%、大学（全員必修）が14.5%、大学（選択制全員可）が3.4%、大学（選択制上限あり）が19.8%、大学院が100.0%であった（表20）。保健師教育課程を主に担当する常勤教員数に占める常勤の保健師経験（3年以上）のある教員の割合の平均（全体：79.5%）は、養成校1年課程が75.0%、短期大学専攻科が83.3%、養成校統合カリが88.9%、大学（全員必修）が74.2%、大学（選択制全員可）が73.0%、大学（選択制上限あり）が79.5%、大学院が88.0%であった（表23）。

4. 考察

卒業単位数は、大学（選択制全員可）及び大学（選択制上限あり）が約140単位と多く過密なカリキュラムとなっている。一方、養成校統合カリ及び大学（全員必修）は約126単位であり、看護師の97単位と保健師の28（25）単位を合わせた125（122）単位に教養科目の単位が加わる事を考えると、多くの読み替えが行われていることが推察される。学内帰校日を除いた保健所・保健センターでの実習日数は、養成校統合カリ、大学では約10-18日と、養成校1年課程、短期大学専攻科、大学院の約21-28日と比べ最大で約2.8倍の開きがあった。保健師としての就職割合は、大学院では100%、養成校1年課程及び短期大学専攻科では50%を超えているのに対し、養成校統合カリ、大学では20%に満たず保健師としての就職に結びついていない実態が明らかになった。保健師経験（3年以上）のある教員は、大学では80%に満たず、実践を踏まえた保健師教育を行う教員の質の担保も課題と考えられる。これらより、読み替えなしのカリキュラムや日数を確保した実習、保健師経験等に基づく教育、保健師としての就職に結びつく教育として、上乘せの保健師教育が望ましいと考える。

平成28年度 保健師教育課程の教育体制等に関する調査 結果報告

1. 回収状況と国公立私区分

	人		%
	対象数	回収数	
全体	193	109	56.5
養成所	9	7	77.8
短期大学専攻科	3	2	66.7
大学	171	93	54.4
大学院	10	7	70.0

2. 保健師教育課程の区分および区分別の卒業単位数、定員、履修状況 (現行(平成28年度入学生に適用)の保健師教育課程)

	n	国立		公立		私立	
		%	%	%	%		
全体	109	21	19.3	23	21.1	65	59.6
養成校1年課程	4	0	0.0	3	75.0	1	25.0
短期大学専攻科	2	0	0.0	0	0.0	2	100.0
養成校統合カリ	3	0	0.0	1	33.3	2	66.7
大学(全員必修)	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
大学(選択制全員可)	8	1	12.5	2	25.0	5	62.5
大学(選択制上限あり)	81	13	16.0	15	18.5	53	65.4
大学院	7	3	42.9	2	28.6	2	28.6

	n	平均値	中央値	最小 - 最大	
				人	人
全体	86	29.1	20.0	12	380
養成校1年課程	4	25.0	22.5	15	40
短期大学専攻科	2	30.0	30.0	20	40
養成校統合カリ	2	45.0	45.0	40	50
大学(全員必修)	4	75.0	70.0	70	90
大学(選択制全員可)	4	87.5	85.0	80	100
大学(選択制上限あり)	67	85.5	80.0	15	380
大学院	3	32.7	26.0	12	60

	n	平均値	中央値	最小 - 最大	
				人	人
全体	86	29.1	20.0	4	100
養成校1年課程	4	22.5	15	15	40
短期大学専攻科	2	30.0	30.0	20	40
養成校統合カリ	2	45.0	45.0	40	50
大学(全員必修)	4	75.0	70.0	70	90
大学(選択制全員可)	4	85.0	80.0	80	100
大学(選択制上限あり)	67	23.5	20.0	10	55
大学院	3	11.7	5.0	4	26

	n	平均値	中央値	最小 - 最大	
				単位	単位
全体	85	126.1	137.0	32	161
養成校1年課程	4	36.8	36.5	32	42
短期大学専攻科	2	34.5	34.5	33	36
養成校統合カリ	2	126.5	126.5	126	127
大学(全員必修)	3	126.0	127.0	124	127
大学(選択制全員可)	5	138.8	139.0	133	148
大学(選択制上限あり)	63	140.0	139.0	124	161
大学院	6	59.7	59.0	58	64

現行	変更先	変更年度	校	
				養成校1年課程
養成校統合カリ	公立	大学院	平成33年度	1
大学(選択制全員可)	国立	大学(選択制上限あり)	平成29年度	1
	私立	大学(選択制上限あり)	平成29年度	1
	私立	大学(選択制上限あり)	平成30年度	2
	私立	大学(選択制上限あり)	未定	1
大学(選択制上限あり)	国立	大学院	平成30年度	1
	国立	大学院	平成32年度	1
	国立	大学院	未定	2
	公立	大学院	未定	2
	公立	回答なし	平成33年度	1
	私立	大学院	未定	4
	私立	養成校1年課程	未定	1

	n	国立		公立		私立	
		%	%	%	%		
全体	47	5	23.8	3	13.0	39	60.0
養成校1年課程	1			1	33.3	0	0.0
短期大学専攻科	2					2	100.0
養成校統合カリ	0			0	0.0	0	0.0
大学(全員必修)	0	0	0.0				
大学(選択制全員可)	5	1	100.0	1	50.0	3	60.0
大学(選択制上限あり)	39	4	36.4	1	6.7	34	66.7
大学院	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

3. 公衆衛生看護学実習の状況 (現行(平成28年度入学生に適用)の保健師教育課程)

	n	平均値	中央値	最小 - 最大	
				単位	単位
全体	95	5.3	5.0	4	14
養成校1年課程	4	5.5	5.5	5	6
短期大学専攻科	2	5.5	5.5	5	6
養成校統合カリ	2	5.0	5.0	5	5
大学(全員必修)	4	5.0	5.0	5	5
大学(選択制全員可)	5	5.6	5.0	5	8
大学(選択制上限あり)	73	5.2	5.0	4	8
大学院	5	7.6	6.0	5	14

	n	平均値	中央値	最小 - 最大	
				日	日
全体	97	18.2	18.0	0.0	50.0
養成校1年課程	4	22.3	22.0	14.0	31.0
短期大学専攻科	2	21.0	21.0	17.0	25.0
養成校統合カリ	2	9.8	9.8	7.0	12.5
大学(全員必修)	4	13.8	14.5	11.0	15.0
大学(選択制全員可)	5	15.8	16.0	10.0	23.0
大学(選択制上限あり)	74	17.8	18.3	0.0	27.0
大学院	6	28.1	25.0	16.0	50.0

	n	平均値	中央値	最小 - 最大	
				人	人
全体	98	4.8	4.0	1	40
養成校1年課程	4	4.5	4.5	3	6
短期大学専攻科	2	3.0	3.0	2	4
養成校統合カリ	2	6.5	6.5	3	10
大学(全員必修)	4	5.0	5.0	4	6
大学(選択制全員可)	5	5.8	6.0	5	6
大学(選択制上限あり)	75	4.9	4.0	2	40
大学院	6	2.3	2.5	1	3

4. 保健師教育課程の選択制の状況（現行(平成28年度入学生に適用)の保健師教育課程）

表11 看護師国家試験資格のみ取得の学生に必要な卒業単位数に加わる

	保健師国家試験受験資格取得に必要な卒業単位数				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	68	13.4	13.0	0	33
大学(選択制全員可)	5	13.2	13.0	9	20
大学(選択制上限あり)	63	13.4	13.0	0	33

表12 看護師教育課程の講義・演習を保健師教育課程の公衆衛生看護学16単位のうちにカウント(読み替え)する単位数

	単位				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	73	5.3	5.0	0	18
大学(選択制全員可)	3	7.3	6.0	5	11
大学(選択制上限あり)	70	5.2	4.5	0	18

表13 看護師教育課程の実習を保健師教育課程の公衆衛生看護学実習5単位のうちにカウント(読み替え)する単位数

	単位				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	75	0.3	0.0	0	5
大学(選択制全員可)	3	0.3	0.0	0	1
大学(選択制上限あり)	72	0.3	0.0	0	5

表14 平成28年度の最終学年の保健師教育課程の選抜の倍率

	単位				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	67	1.4	1.3	0.8	4.0
大学(選択制全員可)	5	1.0	1.0	1.0	1.0
大学(選択制上限あり)	62	1.4	1.3	0.8	4.0

表15 看護師教育課程における公衆衛生看護に関する講義・演習の必修単位数

	単位				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	83	5.8	4.0	0	20
大学(選択制全員可)	7	9.3	7.0	2	20
大学(選択制上限あり)	76	5.5	4.0	0	20

表16 看護師教育課程における公衆衛生看護に関する実習の必修単位数

	単位				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	83	0.4	0.0	0	5
大学(選択制全員可)	7	1.1	0.0	0	4
大学(選択制上限あり)	76	0.4	0.0	0	5

5. 保健師国家試験の状況（現行(平成28年度入学生に適用)の保健師教育課程）

表17 平成28年度卒業生の保健師教育課程の履修人数に占める

	保健師国家試験受験者割合				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	70	98.8	100.0	79.3	100.0
養成校1年課程	4	100.0	100.0	100.0	100.0
短期大学専攻科	2	100.0	100.0	100.0	100.0
養成校統合カリ	2	98.5	98.5	97.0	100.0
大学(全員必修)	4	100.0	100.0	100.0	100.0
大学(選択制全員可)	4	98.7	100.0	94.7	100.0
大学(選択制上限あり)	52	98.6	100.0	79.3	100.0
大学院	2	100.0	100.0	100.0	100.0

表18 平成28年度卒業生の保健師国家試験受験合格率

	(受験者に占める割合)				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	76	97.4	100.0	78.1	100.0
養成校1年課程	4	98.8	100.0	95.0	100.0
短期大学専攻科	2	98.8	98.8	97.7	100.0
養成校統合カリ	2	92.3	92.3	90.6	93.9
大学(全員必修)	3	97.5	97.7	96.4	98.5
大学(選択制全員可)	4	94.0	95.3	85.4	100.0
大学(選択制上限あり)	59	97.6	100.0	78.1	100.0
大学院	2	100.0	100.0	100.0	100.0

6. 保健師としての就職状況（現行(平成28年度入学生に適用)の保健師教育課程）

表19 平成28年度卒業生の保健師教育課程の履修人数に占める

	保健師としての就職割合				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	80	22.8	15.0	0.0	100.0
養成校1年課程	3	58.9	60.0	50.0	66.7
短期大学専攻科	2	52.9	52.9	52.4	53.5
養成校統合カリ	1	0.0	0.0	0.0	0.0
大学(全員必修)	4	14.5	15.7	10.3	16.4
大学(選択制全員可)	4	3.4	3.9	0.0	6.0
大学(選択制上限あり)	64	19.8	13.8	0.0	100.0
大学院	2	100.0	100.0	100.0	100.0

表20 保健師教育課程を主に担当する教員定数に占める

	常勤教員の割合				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	103	94.6	100.0	33.3	133.3
養成校1年課程	4	93.8	100.0	75.0	100.0
短期大学専攻科	2	100.0	100.0	100.0	100.0
養成校統合カリ	3	91.7	100.0	75.0	100.0
大学(全員必修)	4	86.7	90.0	66.7	100.0
大学(選択制全員可)	8	100.0	100.0	100.0	100.0
大学(選択制上限あり)	75	94.3	100.0	33.3	100.0
大学院	7	96.4	100.0	75.0	100.0

7. 教員の状況（現行(平成28年度入学生に適用)の保健師教育課程）

表21 保健師教育課程を主に担当する常勤教員数に占める

	学実習)を主に担当する教員定数(欠員の教員数も含)				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	103	4.0	4.0	2	9
養成校1年課程	4	3.5	3.5	3	4
短期大学専攻科	2	3.0	3.0	3	3
養成校統合カリ	3	3.3	3.0	3	4
大学(全員必修)	4	4.8	5.0	3	6
大学(選択制全員可)	8	4.8	4.5	2	7
大学(選択制上限あり)	75	3.9	3.0	2	9
大学院	7	4.6	4.0	3	6

表22 保健師教育課程を主に担当する常勤教員数に占める

	常勤の保健師経験(3年以上)のある教員の割合				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	104	79.5	84.5	0.0	100.0
養成校1年課程	4	75.0	100.0	0.0	100.0
短期大学専攻科	2	83.3	83.3	66.7	100.0
養成校統合カリ	3	88.9	100.0	66.7	100.0
大学(全員必修)	4	74.2		66.7	80.0
大学(選択制全員可)	8	73.0	70.8	40.0	100.0
大学(選択制上限あり)	76	79.5	91.7	0.0	100.0
大学院	7	88.1	100.0	50.0	100.0

表23 保健師教育課程を主に担当する常勤教員のうち、

	専門分野が公衆衛生看護学以外の教員の割合				
	n	平均値	中央値	最小	最大
全体	102	13.7	0.0	0.0	100.0
養成校1年課程	2	2.0	0.0	0.0	0.0
短期大学専攻科	2	50.0	50.0	0.0	100.0
養成校統合カリ	3	11.1	0.0	0.0	33.3
大学(全員必修)	4	23.8	10.0	0.0	75.0
大学(選択制全員可)	8	11.6	7.1	0.0	33.3
大学(選択制上限あり)	76	14.0	0.0	0.0	100.0
大学院	7	2.4	0.0	0.0	17.0

表24 保健師教育課程変更等に伴い増加した教員定数とその理由(2校)

増加数	理由	校
1	地域看護学に加え、公衆衛生看護学が追加となったため	1
1	大学院での保健師養成に移行するにあたり、大学院と学部の授業・実習が並行して実施されるため	1

表25 保健師教育課程変更等に伴い減少した教員定数とその理由(15校)

減少数	理由	校
1	任期付き教員の退職	1
1	大学の教員定員削減の影響	1
1	在宅看護学領域を独立させたため	1
1	記入なし	1
1	保健師課程の学生の定員の減少	1
3	保健師課程の学生の定員の減少	1
1	保健師課程の学生の定員の減少	7
2	退職後の補充なし	1
1	記入なし	1